



## 「3.11からの出発」

当館では震災後、陸前高田市を中心に支援活動をしてきました。市立小友小学校を定期的に訪問し、NPO法人うれし野こども図書室分館・陸前高田こども図書館「ちいさいうち」に人材面で協力しています。専属司書の中井佳織さんが、2015年度の活動についてご報告します。

ちいさいうちの延べ利用者は、3月末現在17,000人を超えました。2015年度の利用者・貸出者数は前年度を上回り、貸出冊数は過去最多でした。年齢別にみると、特に0歳～6歳の来館が増えています。保育園帰りに、多い時には週2～3度来館する親子連れも何組かあります。借りている本があっても立ち寄って、家族や職員、友だちと一緒に読み合いゆっくり過ごしていきます。保護者の方から、子どもの本についてのお問合せやご相談も増え、その方たちがリピーターとなって、さらなる利用に繋がっています。



小さな図書室の中ではいつも、子どもたちが本と出会う素敵な情景があります。ベンチに寝そべり、職員が読む『ものぐさトミー』を聞いていたTくん(小1)は、あまりの面白さに笑すぎてころげ落ちそうになりました。『いーはとあーは』を読んだMちゃん(4歳)は、「わたしはいしゃさんにいったばかり」とニッと口を開いて歯を見せた後、虫歯がないか、本を抱えて館内にいる大人たちの歯をチェックしてまわりました。写真絵本『あわふきむし』をYくん(小1)とMちゃん(5歳)と一緒に読んだ後のことです。外にでた2人が「あれっ!」「えーっ!ちょっと来て!」と指差した植木の葉っぱに、本物のあわふきむしがいました。子どもたちの知識と体験が結びついた瞬間でした。

今回の「読書キャンペーン」のテーマは、食べ物・料理でした。展示図書を借りるか、館内で職員と一緒に読むと、たべものシールがもらえ、それを冷蔵庫型個人カードに貼っていくというものです。シールは、職員が製作したミニチュアの「おなかいっぱいしあわせの町」にある、イタリアンレストランや焼き鳥屋などのメニューから選ばれます。『くいしんぼうのはなごさん』など普段あまり手に取られない本もよく読まれました。終了時には、「なんでやめちゃうの」と子どもたちの惜しむ声が後を絶ちませんでした。



ちいさいおうちでは今年、開館から5年を迎えます。本を通じて子どもたちと親しくなり、親しくなって、また次の本へ繋がり、子どもたち



### ● 2015年度 活動状況 ( )は昨年度

登録者数	412人(412)	
開館日	火・水・金・土・日 249日(249)	
利用者数 (閲覧者含む)	総数	4,352人(4,083)
	1日当たり	17.5人(16.4)
貸出数	総数	7,397冊(6,553)
	1日当たり	29.7冊(26)
貸出者数	総数	1,894人/団体1 (1,765/団体1)
	1日当たり	7.6人(7.1)
レファレンス総数	177件(87)	
蔵書数	4,877冊(4,629)	



### チャリティお話し会

当館ホールにて、8回目のチャリティお話し会を行いました。語り手は、神奈川県相模原市のお話グループ「でいらぼっちの会」の円乗攝子さんと森山里望さん。おふたりとも秋田ご出身。地元の言葉による昔話や宮沢賢治の作品などを語ってくださいました。『それほんとう?』の掛け合いの息もぴったりでした。収益の114,000円は、活動資金へ繰り入れます。また東京中野ライオンズクラブより、今年度4回のお話し会に対し協賛金10万円をいただきました。

(5月20日 参加者59名)

#### プログラム

1. たにし長者 (日本の昔話)  
「おはなしのろうそく7」東京子ども図書館
2. かちかち山 (日本の昔話)  
「日本昔話百選」三省堂
3. かえるの王さま (グリム昔話)  
「子どもに語るグリムの昔話2」こぐま社
4. おばあさんはまだらのめんどりをかっ  
ていました (ポーランドの昔話)  
「千びきのうさぎと牧童」岩波書店
5. それほんとう? ～あいうえお～  
(松岡享子作)「それほんとう?」福音館書店
6. 序・ざしき童子のはなし (宮沢賢治作)  
「注文の多い料理店」新潮社
7. 虔十公園林 (宮沢賢治作)  
「風の又三郎」岩波書店

#### ● 引き続き、活動資金へのご寄付をお願いいたします。

振込先：ゆうちょ銀行/郵便局 口座記号番号：00130-9-115393 加入者名：公益財団法人東京子ども図書館  
ニュースレターのバックナンバー(2011年4月16日～)は、ホームページでご覧になれます。